

目次

高崎経済大学地域科学研究所 ニュースレター No.8

2017年度の終わりに	(1)
2017年度地域科学研究所事業報告	(2)
研究プロジェクト新刊案内	(25)
地域科学研究所動静	(25)
編集後記	(26)

2017年度の終わりに

所長 西野 寿章

2015年4月に地域科学研究所が設置されて3年目が終わろうとしています。2016年度から始まった地域科学研究所の事業は、大きく基礎研究と市民、県民の生涯学習に資する地域貢献事業の2つに分けることができます。

基礎研究は、所員が企画立案した研究テーマ毎にプロジェクトチームを編成して、3年間かけて調査研究を行って、その成果を公刊します。まず、2016・2017年度の2カ年で研究を進めてきました「日本蚕糸業の縮小過程と蚕糸業文化の伝承」の研究成果がまとまり、2018年3月に日本経済評論社から公刊されます。

2016～2018年度の「空家特別措置法施行後の空家対策に関する総合的研究」(代表・岩崎忠所員・地域政策学部准教授)は、いよいよまとめに入ります。2019年3月には研究成果が公刊されます。それに先立ち、研究成果報告会を行います。詳細は、決まり次第、ホームページに掲載いたします。

2017～2019年度の「長野壱の成立と歴史的役割に関する研究」(研究代表者・西野寿章所員・地域政策学部教授)は、高崎市民の熱心な研究な研究をベースとした市民と大学の共同研究として始まりました。不毛の大地であった高崎台地を潤し、農業、中山道・高崎宿の発達、水道

が完備される明治末期までの市民生活、産業を支えた長野壱の全容が明らかにされます。2020年3月に研究成果が公刊される予定です。

そして2018～2020年度の研究プロジェクトとして、高崎市の製造業研究Ⅱ(研究代表者・永田 瞬所員・経済学部准教授)がスタートします。2017年3月に研究成果『地方製造業の展開－高崎ものづくり再発見－』を公刊し、7月29日にシンポジウムを行いました旧産業研究所の製造業研究プロジェクト(研究代表者・西野寿章所員・地域政策学部教授)を継続してほしいとの学内外の声に応えて、第2弾をスタートさせます。第2弾では、高崎市に本社のある企業の歩みと共に国際社会での躍動も調査研究します。

* * *

一方、地域貢献事業として、公開講座、公開講演会、市民、県民を対象とした地域めぐり、地元学講座を展開しています。公開講座は春期の高崎経済大学連携講座と秋期の公開講座の二本建てとなっています。毎年、熱心な多くの市民、県民の皆様は、地域科学研究所員の最新の研究成果を聴講いただいています。受講者の感想は、本号に掲載しております。ご覧ください。公開講演会も年2回開催しております。そして、2016年度からスタートした地域めぐりと地元学講座は、市民、県民の皆様から好評を得てい

ます。そして、自治体職員の研修として地域経営セミナーも開講し、自治体職員の方々の研修に利用いただいています。

地域科学研究所では、このように基礎研究と地域貢献事業を展開してきました。2016年度、2017年度の2年が終わろうしていますが、市民、県民の皆様から、概ね好評をいただいております、これを励みにさらに充実させてまいります。

* * *

2018年度からは、これらに加え、2つの事業が加わることになりました。1つ目は「あすなろ市民ゼミ」です。富岡賢治市長の発案により、30年前まで中心市街地で営業していた喫茶店を復活させ、中心市街地ににぎわいを取り戻すプロジェクトが2013年6月からスタートしました。その喫茶・あすなろの運営が高崎経済大学に託され、「cafe あすなろ」として本学学生が運営に携わっています。地域科学研究所では、「cafe あすなろ」2階を利用して、定員10名の市民向けゼミを4講座開講します。市民ゼミでは、専門書をテキストとして、受講生には予習を義務づけ、ゼミの時間は講師の解説と討論を行って最終レポートを作成します。担当講師は、最終レポートの添削をして受講生に返却します。2018年度は、経済学者のケインズとフリードマン、政治哲学者のロールズを取り上げる予定です。また、高崎市に本社のある企業経営者に「私の経営」を語っていただく講座も開講します。詳細が決まり次第、ホームページに掲載いたします。

もう1つは、「地科研ブックレット」の刊行です。年2冊の刊行を予定しています。高崎市で発生している様々な問題や市民の疑問を考えるブックレットのテーマとします。ブックレットは、市民、県民の皆様に無料で配布いたします。詳しいことが決まり次第、ホームページに掲載いたします。

大学の地域貢献の必要性が強調されるように

なりました。高崎経済大学では産業研究所の活動から始まり、現在は地域科学研究所がその窓口として、市民、県民の皆様の生涯学習に資するよう活動しております。研究所へのご意見や希望をどしどしお寄せいただけると幸いです。

2017年度地域科学研究所事業報告

1 大学創立60周年記念・地域科学研究所シンポジウム

(1) 「高崎市の製造業の特性と振興」

日時：2017年7月29日（土）

13:30～17:20

場所：本学1号館111教室

参加者数：78人

(2) 「日本蚕糸業の縮小過程と蚕糸業文化の伝承」

日時：2017年12月9日（土）

13:00～16:00

場所：本学図書館ホール

参加者数：56人

2 研究プロジェクト

(1) 「空家特別措置法施行後の空家対策に関する総合的研究」

プロジェクトリーダー：岩崎 忠地域科学研究所員（地域政策学部准教授）

○研究期間：2016年度～2018年度

(2) 「戦後の群馬県の蚕糸業の動向分析および絹遺産の地域振興への活用策に関する研究」

プロジェクトリーダー：佐滝 剛弘特命教授

○研究期間：2016年度～2017年度

●研究会

プロジェクトメンバーによる研究報告および討論

第3回

日時：2017年11月22日（水）

16:00～18:00

場所：本学地域科学研究所

(3) 「長野堰の成立と歴史的役割に関する研究」
プロジェクトリーダー：西野 寿章地域科学研究所長（地域政策学部教授）

○研究期間：2017年度～2019年度

●研究会

プロジェクトメンバーによる研究報告およびアドバイザーからの助言

第1回

日時：2017年7月26日（水）

15:00～17:00

場所：本学地域科学研究所

アドバイザー：吉越 昭久氏（立命館大学
名誉教授）

(1) 5月20日（土）

講師：天羽 正継所員（経済学部准教授）

テーマ：「日本の財政を考える」

(2) 5月27日（土）

講師：坪井 明彦所員（地域政策学部教授）

テーマ：「地方の衰退の要因と地域活性化
について」

(3) 6月3日（土）

講師：若林 隆久所員（地域政策学部准教授）

テーマ：「ネットワークとソーシャル・キ
ャピタル」

(4) 6月10日（土）

講師：戸所 隆名誉研究員（高崎経済大学名
誉教授）

テーマ：「環状交通体系の構築と高崎のま
ちづくり」

(5) 6月17日（土）

講師：八木橋 慶一所員（地域政策学部准
教授）

テーマ：「ソーシャルビジネスの理論と実
践」

3 公開講演会

(1) 日時：2017年7月21日（金）

14:30～16:00

場所：本学6号館623教室

講師：小川 洋氏（教育研究者）

テーマ：「少子化時代の大学教育」

参加者数：35人

(2) 日時：2017年12月5日（火）

14:20～15:50

場所：本学図書館ホール

講師：吉弘 拓生氏（下仁田町副町長・総
務省地域力創造アドバイザー）

テーマ：「現場で考える地域再生－福岡県
うきは市と群馬県下仁田町での取
組みから」

参加者数：22人

4 第2回連携公開講座

期間：2017年5月20日（土）

～6月17日（土）

時間：13:30～15:00

場所：高崎市中央公民館視聴覚集会室

参加者数（実数）：86人

5 第34回公開講座

期間：2017年10月5日（木）

～12月6日（水）

時間：18:30～20:00

場所：本学6号館621教室

参加者数（実数）：106人

(1) 10月5日（木）

講師：黒崎 龍悟所員（経済学部准教授）

テーマ：「アフリカ農村にみる環境利用の知
恵」

(2) 10月12日（木）

講師：小林 徹所員（経済学部講師）

テーマ：「働き方改革－推進への課題と予想
される影響について」

(3) 10月18日（水）

講師：小牧 幸代所員（地域政策学部教授）

- テーマ：「異文化理解とおもてなし－イスラムを中心に－」
- (4) 10月25日(水)
講師：藻利 衣恵所員(経済学部准教授)
テーマ：「経営者報酬制度の歴史－今後日本で増加が見込まれるインセンティブ報酬を中心に－」
- (5) 10月31日(火)
講師：水口 剛所員(経済学部教授)
テーマ：「年金と株とよりよい社会－年金の積立金はどのように運用されるべきか－」
- (6) 11月8日(水)
講師：永田 瞬所員(経済学部准教授)
テーマ：「日本の雇用問題を考える」
- (7) 11月15日(水)
講師：新田 浩司所員(地域政策学部教授)
テーマ：「日本における移民法導入の是非」
- (8) 11月22日(水)
講師：唐澤 達之所員(経済学部教授)
テーマ：「ロンドン－まちづくりの歴史－」
- (9) 12月1日(金)
講師：飯塚 真弓特定研究員(任期制助手)
テーマ：「ヒンドゥー教の文化と暮らし－南インドの事例から－」
- (10) 12月6日(水)
講師：秋朝 礼恵副所長(経済学部准教授)
テーマ：「働き、休み、楽しむ－高負担社会スウェーデンを事例として－」

6 地域めぐり

- (1) 第3回「高崎市の製造業を学ぶ」
日時：2017年10月3日(火)
9:00～16:00
講師：矢野 修一所員(経済学部教授)
コース：昭和電気鋳鋼(倉賀野町)－キンセイ産業(矢中町)－秋葉ダイカスト工業所(大八木町)－牧野酒

造(倉渕町権田)

参加者数：17人

- (2) 第4回「高崎市の農業を学ぶ」
日時：2017年11月14日(火)
10:00～16:00
講師：西野 寿章所員(地域政策学部教授)
コース：国府白菜栽培農地(西国分町)－国分人参栽培農地(西国分町)－清水の梅(上里見町)－くらぶち草の会(倉渕町権田)
参加者数：19人

7 地元学講座

- (1) 第3回「観音山丘陵の自然を学ぶ～子どもたちと発見した観音山丘陵の自然～」
日時：2017年10月17日(火)
18:30～20:00
場所：本学図書館ホール
研究発表：西野 仁美氏(観音山丘陵の自然を守るネットワークの会事務局・小児科医)
参加者数：34人
- (2) 第4回「長野堰用水主要施設をめぐる」
日時：2017年11月28日(火)
9:00～16:00
講師：中嶋 宏氏(長野堰を語りつぐ会会長)
吉越 昭久氏(立命館大学名誉教授)
コース：高小田堰(上並榎町)－新井堰(住吉町)－功德碑(請地町)－円筒分水堰(江木町)－競馬場跡地(岩押町)
参加者数：21人
- 8 第2回地域経営セミナー
日時：2017年11月8日(水)
14:00～16:00
場所：本学7号館72A・B会議室

テーマ：「地方分権時代における地方公務員の使命と役割」

○基調講演「地方分権時代における地方公務員の使命と役割」

講師：千代 清志氏（群馬県商工会連合会専務理事）

○総合討論

コメンテーター：佐藤 徹所員（地域政策学部教授）

岩崎 忠所員（地域政策学部准教授）

参加者数：18人

10 会議等

2017年

4月12日（水） 運営会議

4月19日（水） 所員会議

5月10日（水） 運営会議

5月24日（水） 所員会議

6月28日（水） 運営会議

7月12日（水） 所員会議

7月26日（水） 運営会議

所員会議

10月11日（水） 運営会議

11月8日（水） 運営会議

11月22日（水） 所員会議

2018年

2月14日（水） 所員会議

2月26日（月） 運営会議

9 ぐんま地域経済研究会

日時：2018年2月14日（水）

15:00～17:30

場所：本学地域科学研究所

報告者：米本 清所員（地域政策学部准教授）

群馬経済研究所研究員

* * * *

11 参加者アンケート結果（抜粋）

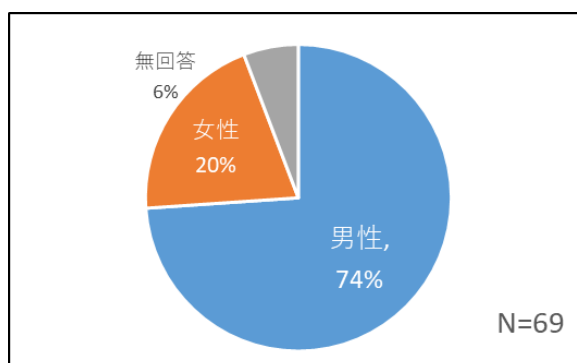
各事業の参加者アンケートの結果を紹介します。なお、第2回連携公開講座の参加者アンケート結果については、ニュースレター第6号をご覧ください。

《第34回（2017年度）公開講座》

○最終回（12/5）受講後、アンケート調査を実施。[有効回答数：69人（回収率：90.79%）]

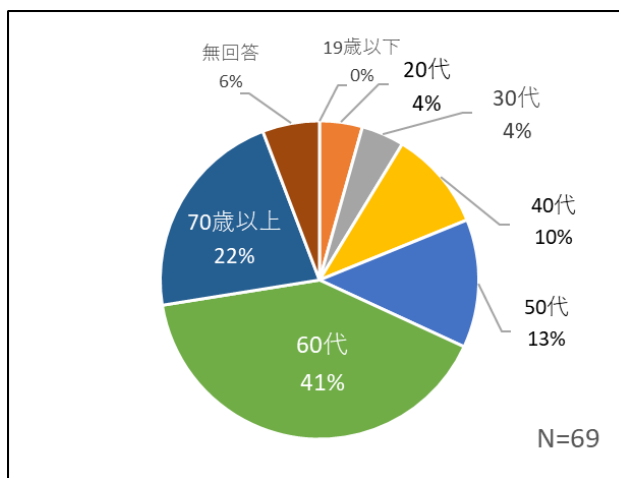
問1. 性別

男性	51人
女性	14人
無回答	4人
合計	69人



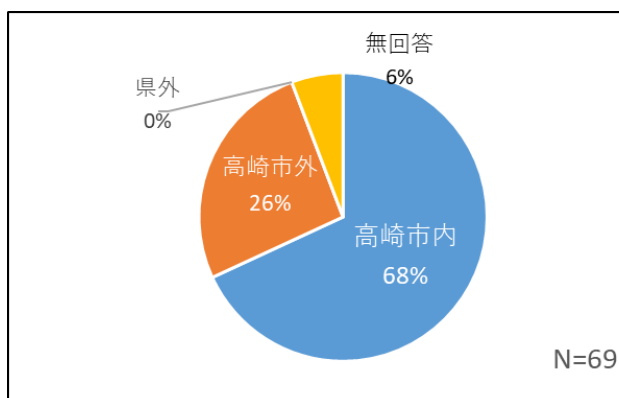
問 2. 年齢

19歳以下	0人
20代	3人
30代	3人
40代	7人
50代	9人
60代	28人
70歳以上	15人
無回答	4人
合計	69人



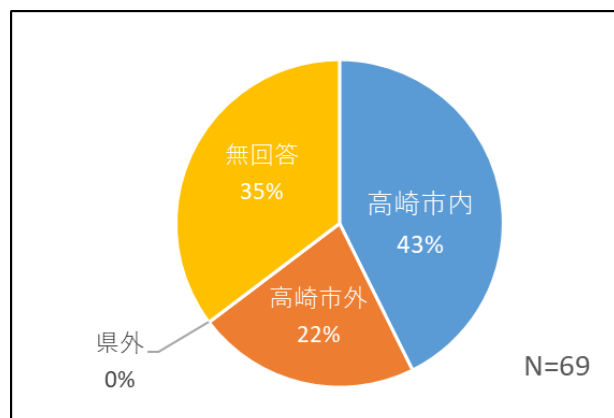
問 3. 居住地

高崎市内	47人
高崎市外	18人
県外	0人
無回答	4人
合計	69人



問 4. 通学・通勤・所属先の地域

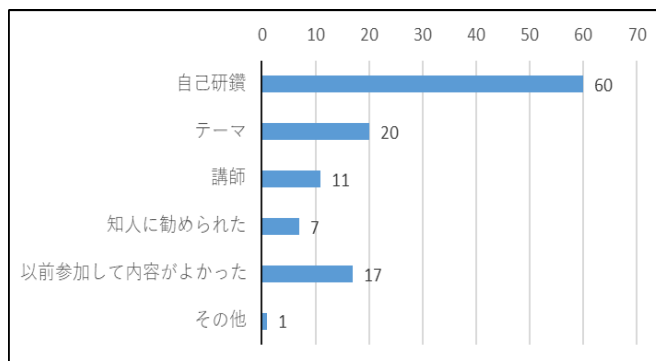
高崎市内	29人
高崎市外	15人
県外	0人
無回答	24人
合計	68人



問 5. 受講の理由(複数回答可)

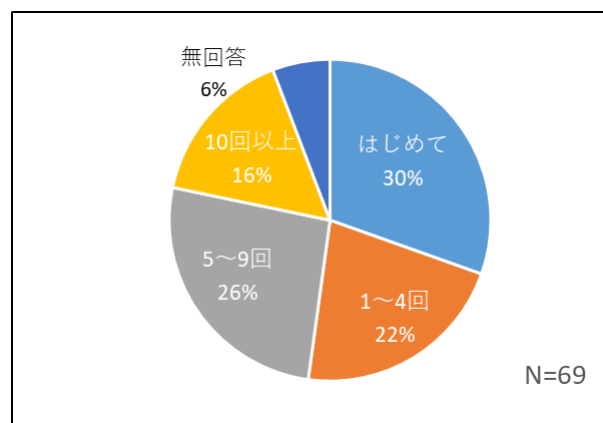
自己研鑽	60人
テーマ	20人
講師	11人
知人に勧められた	7人
以前参加して内容がよかった	17人
その他	1人

・その他 (お手頃価格)



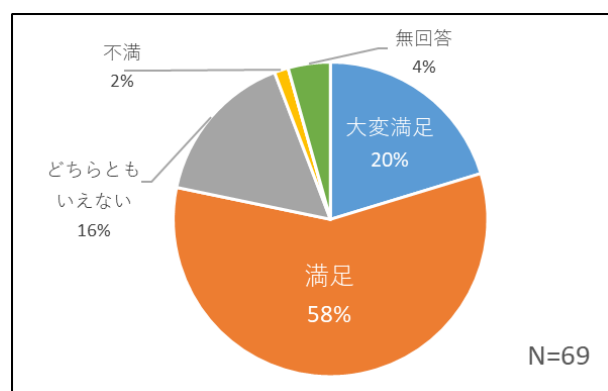
問 6. 昨年度までの受講回数 (第 2 回連携公開講座も含む)

はじめて	21人
1~4回	15人
5~9回	18人
10回以上	11人
無回答	4人
合計	69人



問 7. 今回講座の全体的な満足度

大変満足	14人
満足	40人
どちらともいえない	11人
不満	1人
大変不満足	0人
無回答	3人
合計	69人

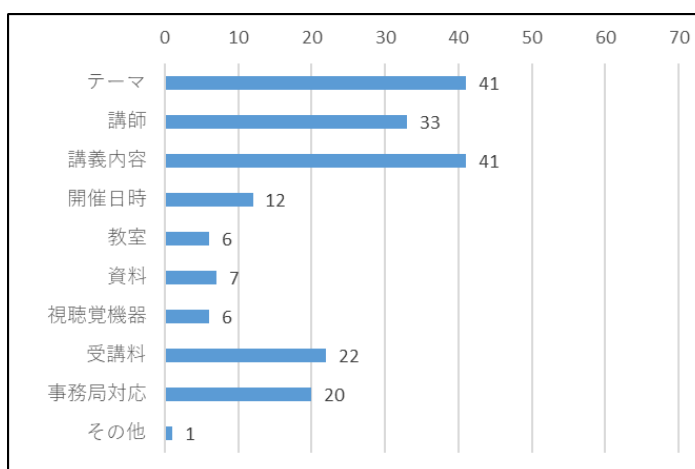


・その回によって差が大きいので。

満足の時には、その先生のテーマに対する想い&生き方を学べた。

問 8. 問 7 で「大変満足」「満足」と回答した方が評価する点（複数回答可）

テーマ	41 人
講師	33 人
講義内容	41 人
開催日時	12 人
教室	6 人
資料	7 人
視聴覚機器	6 人
受講料	22 人
事務局対応	20 人
その他	1 人



- ・大学の教員の話が聴くことができること。
今後も多くの先生の話が聴きたいと思っ
ます。自己研鑽の為にも。

問 9. 問 7 で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」と回答した方が挙げた改善すべき点
(複数回答可) (抜粋)

- ・それぞれの講座は面白いが、自己研鑽のための勉強になるとは思えなかった。
- ・興味を持てる講座が少なかった。
- ・テーマが広大すぎたので、身近なテーマ（市・県レベル）からの話しも聞きたかった。
- ・もう少し、実践に役立つ内容（仕事や生活など）の方が良かったから。

自由記述欄（各回および全体の感想、取り上げてほしいテーマ・分野など）（抜粋）

- ・すごく聞きやすかったです。資料の提示の仕方も順々に表を出していくなどの工夫もあって頭の中整理しやすかったです。
- ・明確な展開で水を切り口にロンドンの変化をわかりやすく話してくれ、身近な問題ととらえられた。興味深い写真等、視覚に訴えてもくださり、楽しかったです。
- ・先生がいきいきとされていて聞いていて楽しかったです。受講者参加型なのも良かったです。
- ・具体的でわかりやすく、人柄がにじみ出ていた。自助努力に感心した。
- ・現代にマッチしたテーマでとても興味がある講義でした。資料も理解しやすいものでした。ただし時間配分にもうちょっと考慮すべきです。
- ・講座全体、説明になっていた。使用されているデータが数年前のものなので、現状と合致していない面がみられた。
- ・県内の街づくりや活性化に向けた取組み紹介などを希望します。
- ・地域振興、まちづくり、里山再生などのテーマで講義を開いていただけるとありがたい。
- ・経済史的なテーマを取り上げてほしい。

- ・観光・交通・都市計画・人口減少・働き方改革・首都機能移転をテーマとした内容がございましたら是非拝聴させていただきたいです。
- ・現代経済学の中から何かテーマを絞ったものを聴講してみたい。例えば、アメリカ、中国、日本の関係の経済の視点からの問題点、課題将来像。
- ・テーマによってはシリーズで2~3回続けてやってもらいたい。

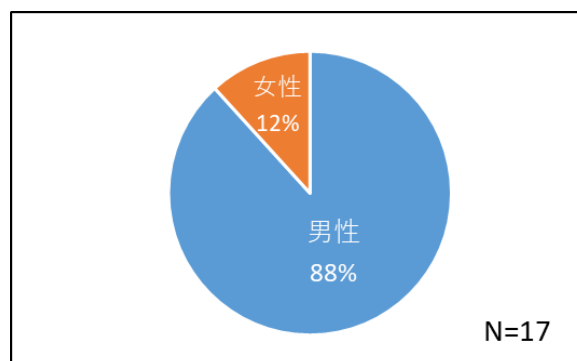
《第3回 地域めぐり「高崎市の製造業に学ぶ」》

○受講後アンケート調査を実施。[アンケート有効回答数：17人(回収率：100%)]

問1. ご自身についてお答えください。

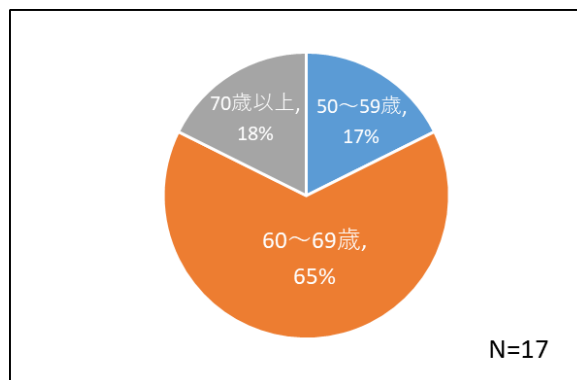
【性別】

男性	15人
女性	2人
合計	17人



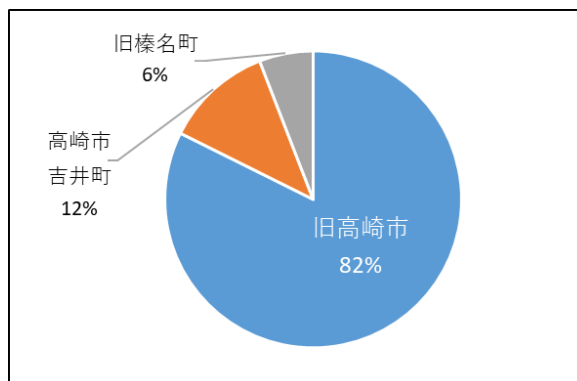
【年齢】

29歳以下	0人
30~39歳	0人
40~49歳	0人
50~59歳	3人
60~69歳	11人
70歳以上	3人
合計	17人



【お住まい】

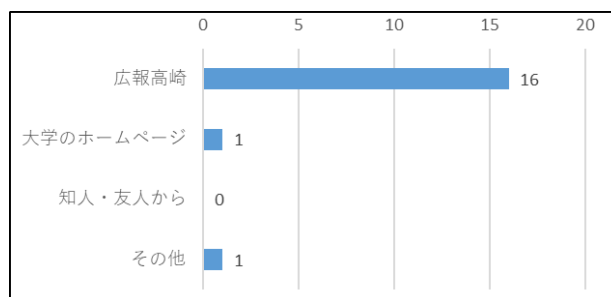
旧高崎市	14人
高崎市吉井町	2人
高崎市新町	0人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧榛名町	1人
上記以外	0人
合計	17人



問 2. 本企画をどこでお知りになりましたか (複数回答可)

広報高崎	16人
大学のホームページ	1人
知人・友人から	0人
その他	1人

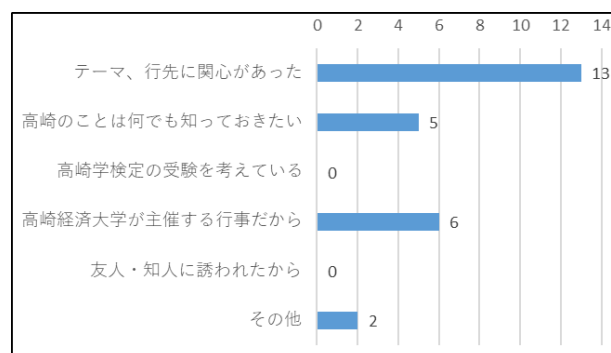
・その他 (上毛新聞)



問 3. 参加された動機をお聞かせください。(複数回答可)

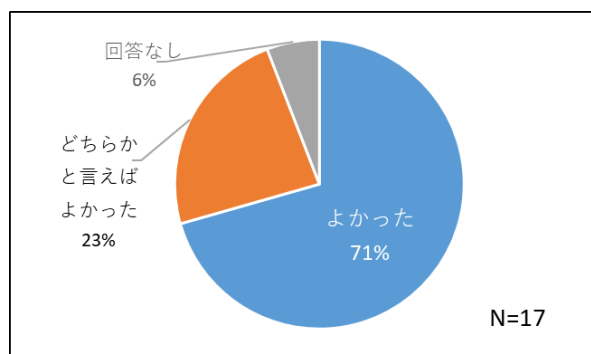
テーマ、行先に関心があった	13人
高崎のことは何でも知っておきたい	5人
高崎学検定の受験を考えている	0人
高崎経済大学が主催する行事だから	6人
友人・知人に誘われたから	0人
その他	2人

- ・元の職場のその後が見たかった
- ・中小企業診断士試験の勉強の為
物づくりの現場を見たかった為
- ・OBだから



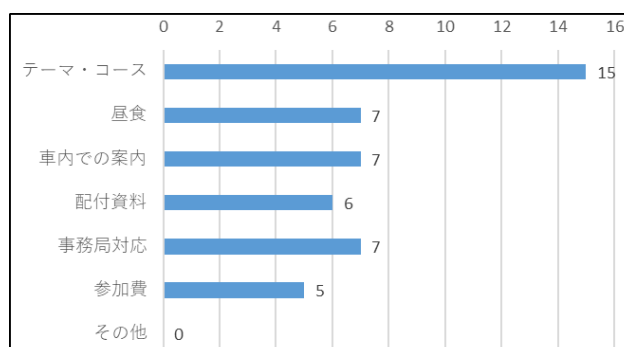
問 4. 参加された感想をお聞かせください。

よかった	12人
どちらかと言えばよかった	4人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えばよくなかった	0人
よくなかった	0人
回答なし	1人
合計	17人



問5. 問4の質問において「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答した方のよかった点。
(複数回答可)

テーマ・コース	15人
昼食	7人
車内での案内	7人
配付資料	6人
事務局対応	7人
参加費	5人
その他	0人



【ご意見】 (抜粋)

- ・見学した企業全てが社員ぐるみで対応がととてもすばらしく感心しました。ふだん見られない作業現場にも入れていただきとても良かったです。
- ・高崎市の中小企業で働く人々の姿に感動しました。温かく迎えてくれた事業主にお礼を申し上げます。
- ・地元の元気な製造業に足をはこんでいただける機会をつくっていただき感謝いたします。良好な会社の要点がかいま見られました。
- ・1日4社、50分/1社⇒1日3社、1.5時間/1社このくらいが良い。見学時間をもう少し長く、見学後のQ&Aも欲しかった。
- ・生産現場で関係者の方から話を伺い視察できた事・昭和電鑄、キンセイ産業は社長の熱い思いや経験が聞けた事・ともかく色々勉強になりました。
- ・昭和電気鑄鋼(株)の社長が若い人で三代目との事ですが、主婦から何もわからずに入社し、社長をやっている事に特に驚きました。経営する事も政治の世界も女性が活躍している事が印象に残りました。

問6. 問4の質問において「どちらかと言えばよくなかった」「よくなかった」と回答した方のよくなかった点。

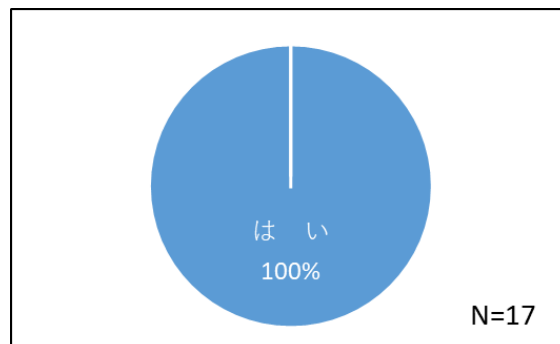
テーマ・コース	0人
昼食	0人
車内での案内	0人
配付資料	0人
事務局対応	0人
参加費	0人
その他	1人

【ご意見】

- ・それぞれの訪問先の滞在時間が短かった様に思います。

問 7. 地域めぐりに、また参加したいと思われませんか。

はい	17人
いいえ	0人
合計	17人



※どのようなテーマやコースの地域めぐりに参加したいですか。ご希望があれば教えてください
(抜粋)

- ・各地の点在する市の重要文化財をたずねる計画など
- ・歴史上の施設は他の団体でも実施しているので、公共施設、民間企業等個人では計画できない場所
- ・地域の企業、古いモノを続ける企業
- ・今回ご紹介いただいた4社以外にも誇れる製造業もありますのでテーマに取り上げていただきたい(製造業パート2)～高崎ものづくり再発見シリーズ
- ・各企業の案内者は親切で感動した。
- ・他の物づくり企業・販売マーケティング関係(卸も含む)の会社・高崎、群馬の特産、独特の企業で、努力をされている会社・老舗、100年続いている会社や組織・文化伝統を守っているような組織

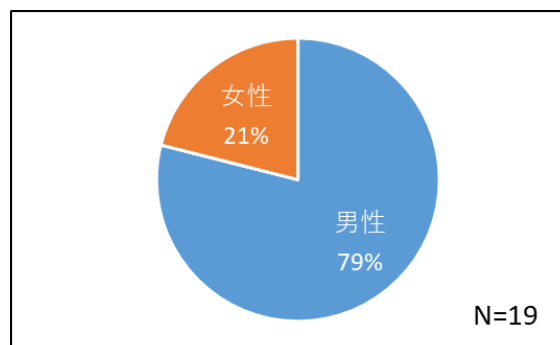
《第4回 地域めぐり「高崎市の農業に学ぶ」》

○受講後アンケート調査を実施。[アンケート有効回答数：19人(回収率：100%)]

問 1. ご自身についてお答えください。

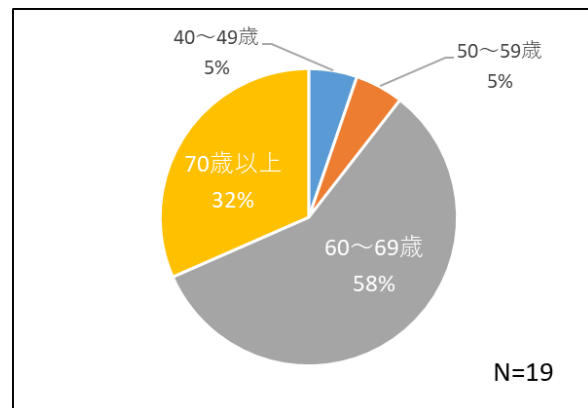
【性別】

男性	15人
女性	4人
合計	19人



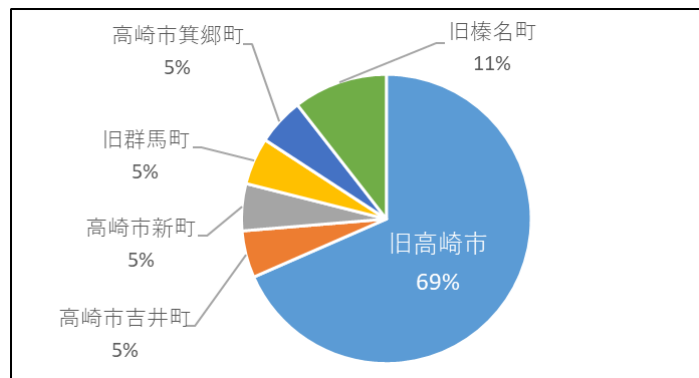
【年齢】

29歳代以下	0人
30～39歳	0人
40～49歳	1人
50～59歳	1人
60～69歳	11人
70歳以上	6人
合計	19人



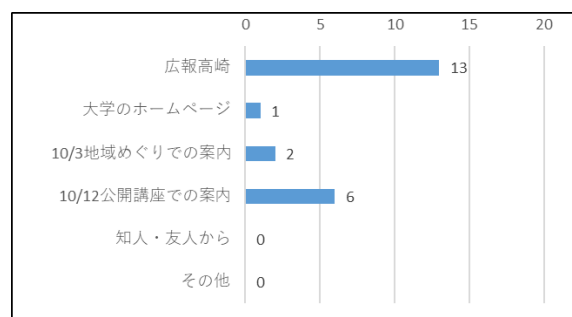
【お住まい】

旧高崎市	13人
高崎市吉井町	1人
高崎市新町	1人
旧群馬町	1人
高崎市箕郷町	1人
旧榛名町	2人
上記以外	人
合計	19人



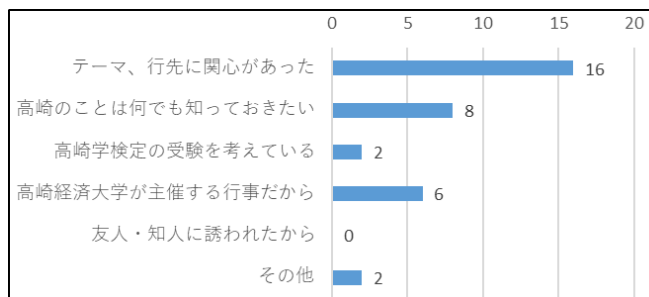
問2. 本企画をどこでお知りになりましたか (複数回答可)

広報高崎	13人
大学のホームページ	1人
10/3 地域めぐりでの案内	2人
10/12 公開講座での案内	6人
知人・友人から	0人
その他	0人



問3. 参加された動機をお聞かせください。(複数回答可)

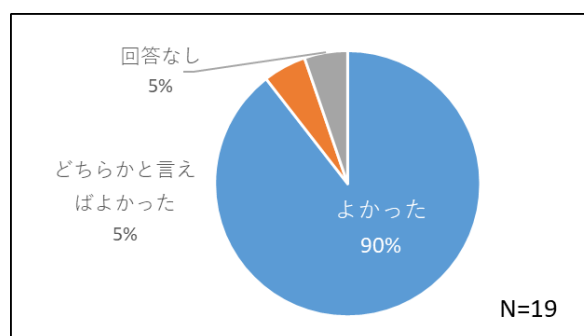
テーマ、行先に関心があった	16人
高崎のことは何でも知っておきたい	8人
高崎学検定の受験を考えている	2人
高崎経済大学が主催する行事だから	6人
友人・知人に誘われたから	0人
その他	2人



- ・倉渕でニンニクをつくっているから
- ・退職後、親の農業を後継ぐことが現実としてある為、現状の一部でも見ていたい。

問4. 参加された感想をお聞かせください。

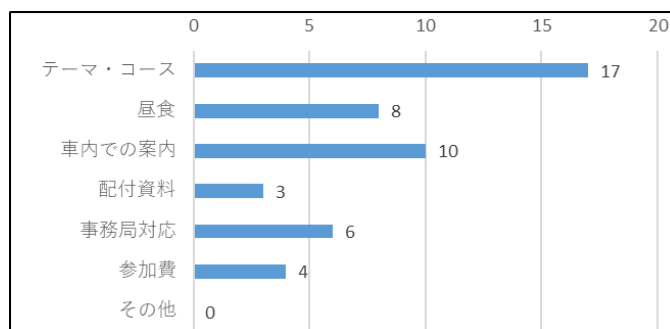
よかった	17人
どちらかと言えばよかった	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えばよくなかった	0人
よくなかった	0人
回答なし	1人
合計	19人



問5. 問4の質問において「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答した方のよかった点。

(複数回答可)

テーマ・コース	17人
昼食	8人
車内での案内	10人
配付資料	3人
事務局対応	6人
参加費	4人
その他	0人



【ご意見】 (抜粋)

- ・ 普段会えない農家の方のお話を聞いただけでなく、車のない私には地域もなかなか行けないところ。両方の意味で大満足です。
- ・ 初参加ですが、訪問させて頂いた4名の生産者の皆様それぞれの農業に対する考え方や取り組み方、経営の手段と共に新しい話を分かりやすく、話し方も理解されやすい言葉にとても感動しました。皆様のこれまでの苦勞を思うと身近に素晴らしい会えた事に感謝します。
- ・ 先生の案内はすばらしく、地域の歴史など語っていただきありがとうございました。
- ・ 生産者の生の声が聞こえて良かった。いろいろな苦勞が良く分かりました。
- ・ 熟練した生産者の話が聞いて良かった。現場の人の話を聞いて刺激になった。
- ・ 現地での生産者様の食に関する心構えや生産性、付加価値を付けた所得増への努力追求の姿勢と後継に対するむずかしさを感じました。
- ・ 講師が良かった。みなさんが自分で実践した事を活かして下さり良かった。話もうまいし内容も良い。

問6. 問4の質問において「どちらかと言えばよくなかった」「よくなかった」と回答した方のよくなかった点。

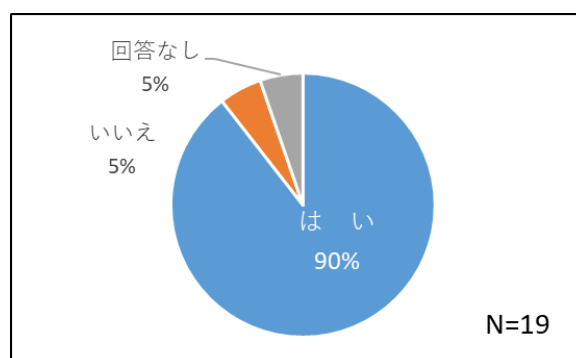
テーマ・コース	0人
昼食	0人
車内での案内	0人
配付資料	0人
事務局対応	0人
参加費	0人
その他	1人

【ご意見】

- ・ スタートを30分か1時間早めても良かった。

問7. 地域めぐりに、また参加したいと思われますか。

はい	17人
いいえ	1人
回答なし	1人
合計	19人



※どのようなテーマやコースの地域めぐりに参加したいですか。

ご希望があれば教えてください（抜粋）

- ・上野三碑（3ヶ所コース）
- ・企業訪問（前回と異なるところ）を希望します
- ・耕作放棄地の有効対策をとっている場所
- ・商店街の再生は可能か？（商店街として活性化しているところの見学も含めて）
- ・蚕糸業の現状、歴史文化遺産
- ・史跡めぐり
- ・高崎の鉄道施設めぐり…高崎車両センター高崎支所・高崎機関区・上信電鉄高崎車両区・倉賀野貨物ターミナル・高崎操車場 等
- ・高崎の工業団地めぐり…倉賀野工業（工場）団地

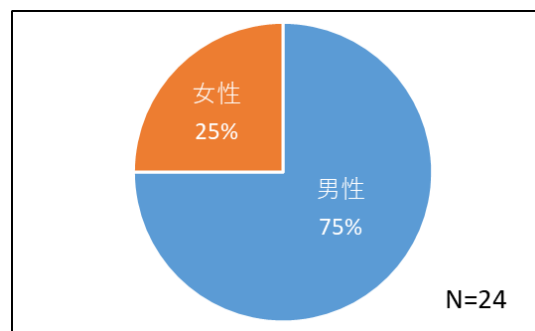
《第3回 地元学講座「観音山丘陵の自然を学ぶ」》

○参加人数 34 人（一般：32 名 学生：2 名） [アンケート有効回答数：24 人（回収率：70%）]

問 1. ご自身についてお答えください。

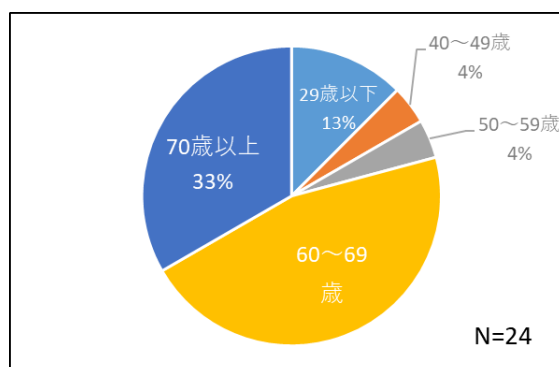
【性別】

男性	18 人
女性	6 人
合計	24 人



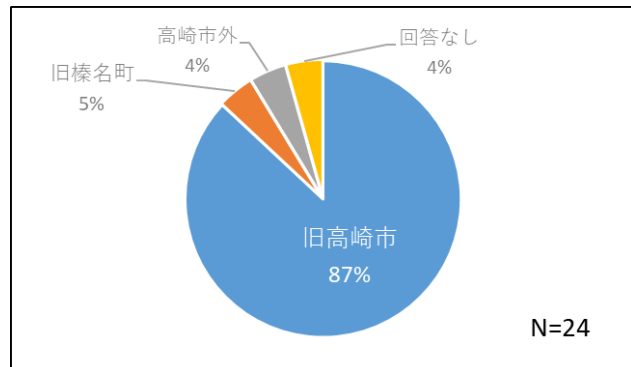
【年齢】

29 歳以下	3 人
30～39 歳	0 人
40～49 歳	1 人
50～59 歳	1 人
60～69 歳	11 人
70 歳以上	8 人
合計	24 人



【お住まい】

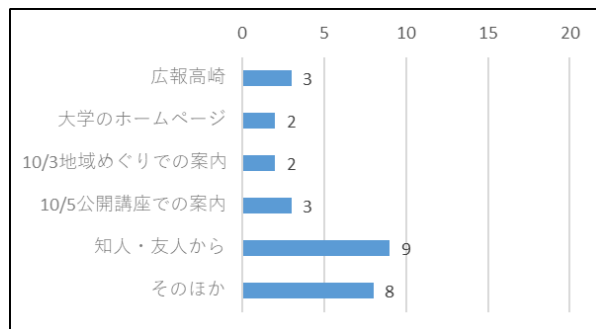
旧高崎市	20人
高崎市吉井町	0人
高崎市新町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧群馬町	1人
旧榛名町	1人
高崎市外	1人
群馬県外	0人
回答なし	1人
合計	24人



※市外の方は伊勢崎市より参加

問2. 本企画をどこでお知りになりましたか (複数回答可)

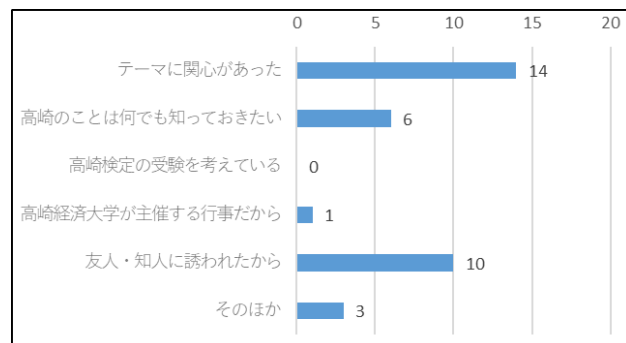
広報高崎	3人
大学のホームページ	2人
10/3 地域めぐりでの案内	2人
10/5 公開講座での案内	3人
知人・友人から	9人
そのほか	8人



- ・上毛新聞をみて (3人)
- ・講師からの案内 (4人)
- ・群馬環境アドバイザー・高崎地区会での案内 (1人)

問3. 参加された動機をお聞かせください。(複数回答可)

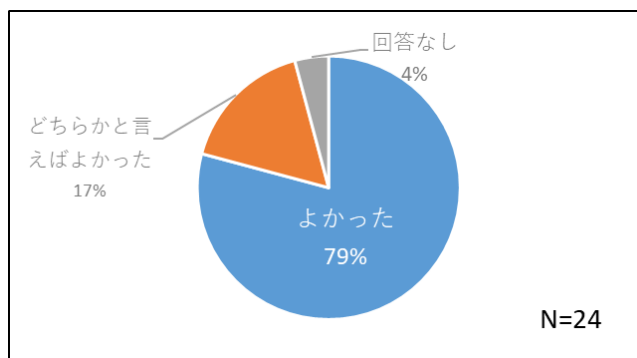
テーマに関心があった	14人
高崎のことは何でも知っておきたい	6人
高崎検定の受験を考えている	0人
高崎経済大学が主催する行事だから	1人
友人・知人に誘われたから	10人
そのほか	3人



- ・エコクラブの先生が講演をする内容が聞きたかったから

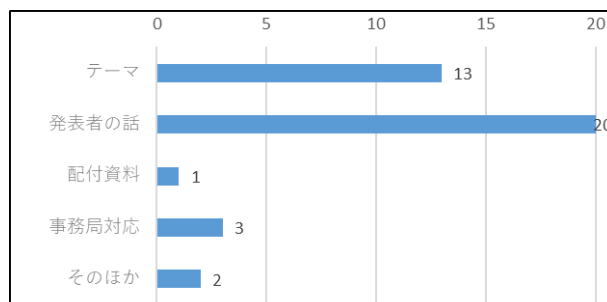
問 4. 参加された感想をお聞かせください。

よかった	19 人
どちらかと言えばよかった	4 人
どちらとも言えない	0 人
どちらかと言えばよくなかった	0 人
よくなかった	0 人
回答なし	1 人
合計	24 人



問 5. 問 4 の質問において「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答した方のよかった点。
(複数回答可)

テーマ	13 人
発表者の話	20 人
配付資料	1 人
事務局対応	3 人
そのほか	2 人



- ・昔のことが（自然のためにしたこと）とてもよくわかった。
- ・幅広い活動視点、実績を改めて感じました。

【ご意見】（抜粋）

- ・盛りだくさんすぎた
- ・自然の大切さを改めて考えさせられました。孫に伝えたいです。先生の活動をこれからも応援していきたいと心から思いました。
- ・もう少しゆっくりお話しして下さるとよかったです。もりだくさんで仕方ないですが。
- ・子供を育てる最大の課題ですね。
- ・子供については良いがそのためには大人が勉強しなければならない。

問 6. 問 4 の質問において「どちらかと言えばよくなかった」「よくなかった」と回答した方のよくなかった点。
記載なし。

問 7. 来年度以降に取り上げてもらいたい高崎市の歴史や民俗、現状の問題や課題がありましたら、ご記入ください (抜粋)

- ・ 観音山、山名丘陵の四季の変化等
- ・ 地元学の現状と課題 (経過を含めて)、高崎学検定との関連でその発展と展開
- ・ 自然歩道の整備と歩くこと
- ・ 支流の上流を整備。ブラックバスやブルーギルなどの外来魚の始末。絶滅危惧種の保護。

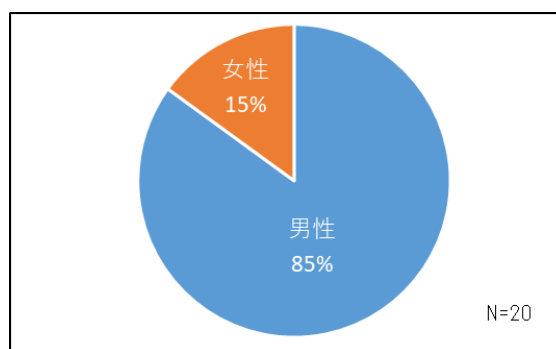
《第 4 回 地元学講座「長野堰用水主要施設をめぐる」》

○受講後アンケート調査を実施。[アンケート有効回答数：20 人 (回収率：95.2%)]

問 1. ご自身についてお答えください。

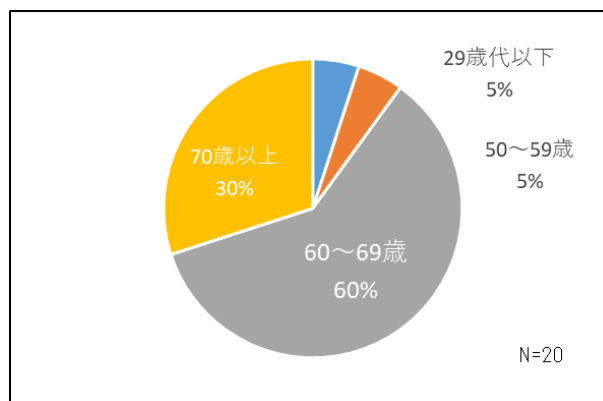
【性別】

男性	17 人
女性	3 人
合計	20 人



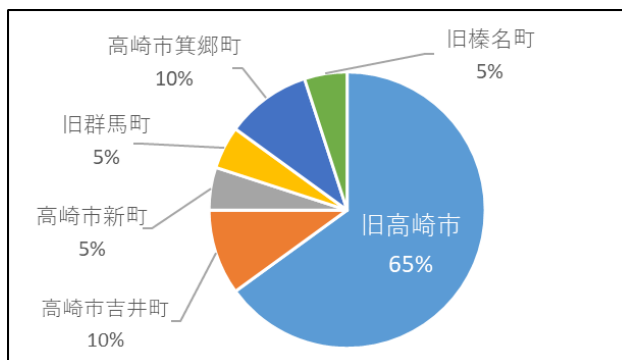
【年齢】

29 歳代以下	1 人
30～39 歳	0 人
40～49 歳	0 人
50～59 歳	1 人
60～69 歳	12 人
70 歳以上	6 人
合計	20 人



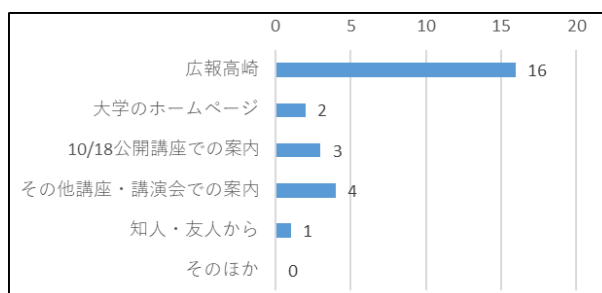
【お住まい】

旧高崎市	13 人
高崎市吉井町	2 人
高崎市新町	1 人
旧群馬町	1 人
高崎市箕郷町	2 人
旧榛名町	1 人
上記以外	0 人
合計	20 人



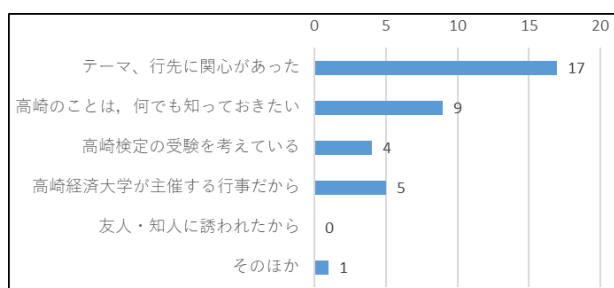
問 2. 本企画をどこでお知りになりましたか (複数回答可)

広報高崎	16人
大学のホームページ	2人
10/18 公開講座での案内	3人
その他講座・講演会での案内	4人
知人・友人から	1人
そのほか	0人



問 3. 参加された動機をお聞かせください。 (複数回答可)

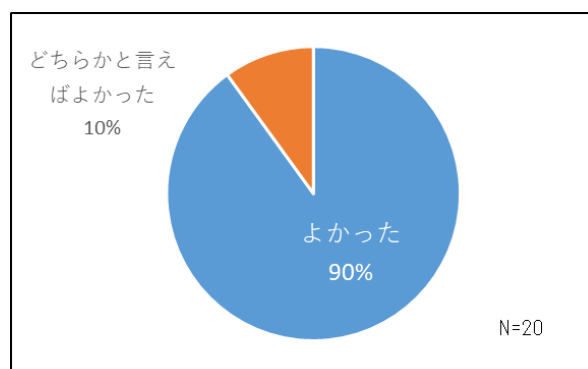
テーマ、行先に関心があった	17人
高崎のことは、何でも知っておきたい	9人
高崎検定の受験を考えている	4人
高崎経済大学が主催する行事だから	5人
友人・知人に誘われたから	0人
そのほか	1人



・卒業論文の題材の1つにするため

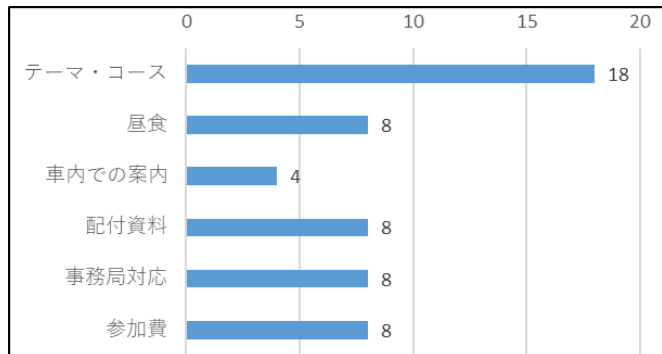
問 4. 参加された感想をお聞かせください。

よかった	18人
どちらかと言えばよかった	2人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えばよくなかった	0人
よくなかった	0人
回答なし	0人
合計	20人



問5. 問4の質問において「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答した方のよかった点。

テーマ・コース	18人
昼食	8人
車内での案内	4人
配付資料	8人
事務局対応	8人
参加費	8人



【ご意見】 (抜粋)

- ・長野堰に関心があった。競馬場跡地に初めて行きました。良い経験でした。
- ・長野堰のあらましが現地を通してわかりましたので良かったです。
- ・長野堰を語りつぐ会のご案内、説明内容が興味深く感じました。
- ・長野堰なくして高崎はありえない不毛地帯から肥沃な土地へ長野一族の貢献はすばらしい。
- ・ふだんなかなか行けないところに行って実際に現物を見られたことが良かった。
- ・講師の説明が正確、丁寧で非常にためになった。
- ・競馬場の発掘現場が見学できたこと。長野堰を身近に感じられました。

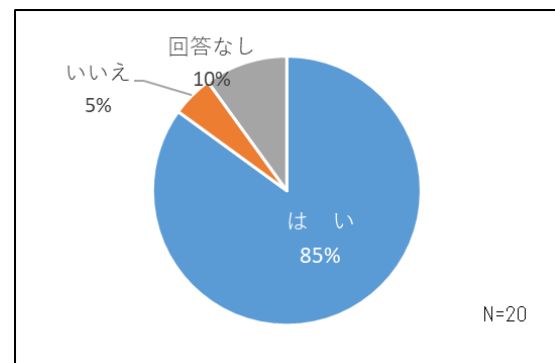
問6. 問4の質問において「どちらかと言えばよくなかった」「よくなかった」と回答した方のよくなかった点。

【ご意見】

競馬場の説明時間は長過ぎる。

問7. 地域めぐりに、また参加したいと思われますか。

はい	17人
いいえ	1人
回答なし	2人
合計	20人



※どのようなテーマやコースの地域めぐりに参加したいですか。

ご希望があれば教えてください（抜粋）

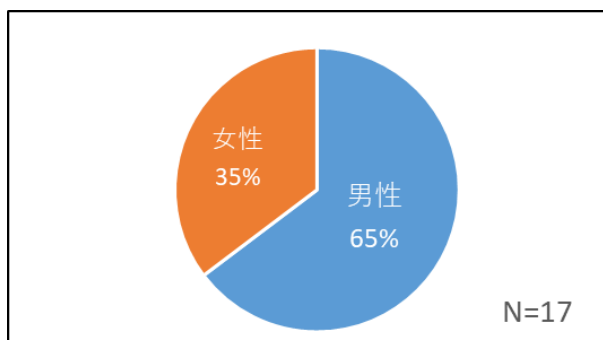
- ・高崎市の歴史特に江戸時代、戦国時代
- ・高崎市内の江戸時代の歴史
- ・頭首工についても企画してください。
- ・鉄道、路面電車などをテーマにして紹介してください。
- ・高崎市民生活の明治、大正、昭和の変遷
- ・水道、下水道施設 産廃施設
- ・高崎藩の歴史、明治初期の廃藩置県、歩兵十五連隊の設置経緯
- ・高崎市の鉄道施設見学(倉賀野貨物ターミナル、高崎機関区、高崎車両センター高崎支所、上信電鉄本社)

《第2回地域経営セミナー》

○受講者 18人 [有効回答数：17人 (回収率：96.42%)]

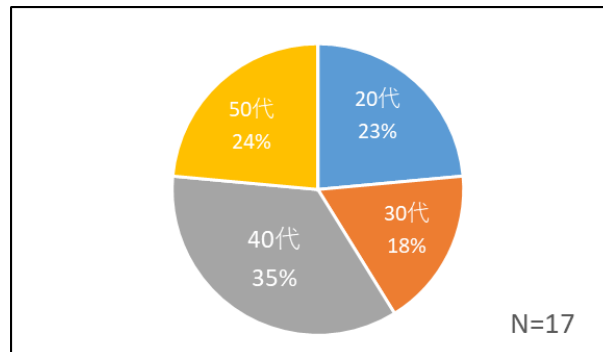
【性別】

男性	11人
女性	6人
合計	17人



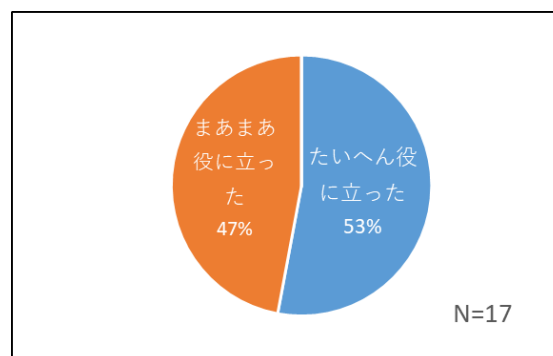
【年齢】

20代	4人
30代	3人
40代	6人
50代	4人
60歳以上	0人
合計	17人



問 1. 本日の講演は日頃の業務に役立ちましたか

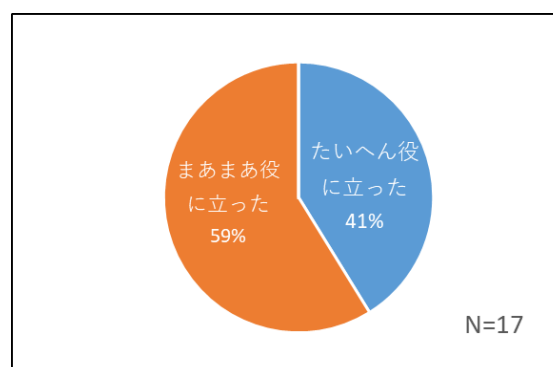
たいへん役に立った	9人
まあまあ役に立った	8人
役に立たなかった	0人
合計	17人



- ・ 県職の意識改革が急務だと再認できた。
- ・ 公務員としてまだまだ経験値が少ないが千代専務や出席された方のお話は大変参考になった。
- ・ 情報に接する手段を増やしていきたい。入職2年目で経験が浅いのですが、管理職を多々経験された方のお話が聞けたので、管理職の立場からどう物事を見ているか、どのようにマネジメントをしているかを知ることができ、業務に役立てたいと思いました。
- ・ ご自身の体験談を聞くことができて良かった。少人数であったので、発言がし易い雰囲気でも意義であったと思います。先生のお人柄が伝わってくるような充実した時間を過ごすことができました。

問 2. 本日のセミナーの討論について

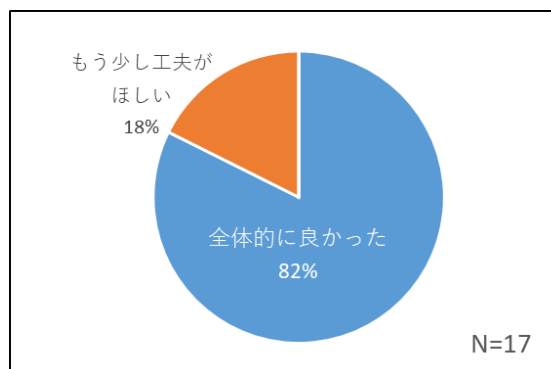
たいへん役に立った	7人
まあまあ役に立った	10人
役に立たなかった	0人
合計	17人



- ・ これからどうするか？という考え方が大切だと再認識できた。
- ・ できれば一つのテーマについて討論できればよかった。
- ・ 市職員の話しがきけてよかった。
- ・ 普段は聞くことのできない自治体の方の意見もきくことができた。県職の方や、経験の多い方の悩みや実情を知り、アドバイスをおうかがいできたので、大変役に立ちました。

問 3. 本日のセミナー全体の評価について

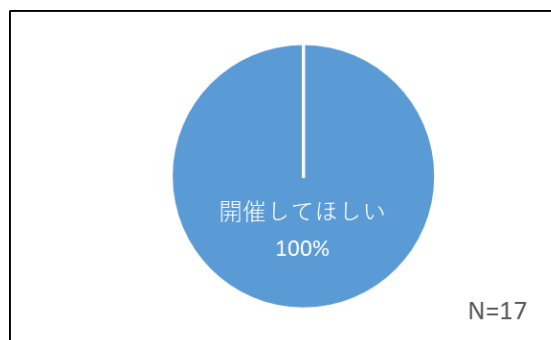
全体的に良かった	14人
もう少し工夫がほしい	3人
良くなかった	0人
合計	17人



- ・これからどうするかというヒントや討論ができればよかった。
- ・もう少し討論する時間がほしかった。
- ・内容などポイントを絞り込む。
- ・参加者全員に発言の機会があつて良かったです。

問 4. (自治体職員対象のセミナー) 今後も開催した方がよろしいでしょうか

開催してほしい	17人
必要性は低い	0人
必要はない	0人
そのほか	0人
合計	17人



質問 5. 今後、このセミナーで取り上げてもらいたいテーマや講師名など (抜粋)

- ・少ない予算で最大限の税収を上げるにはどうしたらよいか。
- ・公務員の資質向上やモチベーションを上げるには？
- ・産学官を進めるための効果的な方法。
- ・過疎から地方消滅に向っていく時代の中で、自治体はどう問題にアプローチしていくべきか、都市計画や産業振興、福祉など多面的に教えていただきたい。

* * * *

研究プロジェクト新刊案内

地域科学研究所では、発足プロジェクトとして『富岡製糸場と群馬の蚕糸業』を2016年3月に刊行しました。その際、戦後の蚕糸業衰退過程の解明を進める必要があるとの意見があり、新たに「戦後の群馬県の蚕糸業の動向分析および絹遺産の地域振興への活用策に関する研究」のプロジェクトチームを編成し、2016年度から2年にわたり研究を継続してきました。そして、このほど、その研究成果が、『日本蚕糸業の衰退と文化伝承』として日本経済評論社から刊行されました(2018年3月30日発行、定価3,500円+税)。



本書は、5章で構成されています。第1章では、農林水産省蚕糸課長として実際に実務に当たり、また食糧庁長官退官後大日本産蚕糸会会頭を務めた、高木 賢公立大学法人高崎経済大学理事長が執筆しています。戦後の日本蚕糸業政策を知ることができる貴重な論文です。第2章は、西野寿章地域科学研究所長(地域政策学部教授)が、需要サイドから日本蚕糸業の衰退過程を分析しました。第3章では、大島登志彦地域科学研究所員(経済学部教授)が、蚕糸絹

文化に関連した博物館や資料館の設立状況を整理し、学校教育において蚕糸絹文化の伝承が行われている様子を報告しています。第4章は、佐滝剛弘地域科学研究所特命教授が、日本国内および欧州の世界遺産所在地域における地域振興の状況を取材、報告しています。そして、第5章は、2017年12月9日に本プロジェクトの研究報告会を開催した折、各プロジェクトメンバーの報告に対し、日本蚕糸業史研究の第一人者でおられる東京大学名誉教授・石井寛治先生からいただいたコメントを収録しました。前著『富岡製糸場と群馬の蚕糸業』と本書によって、戦前における日本蚕糸業の発展と戦後の衰退過程とがおおよそ明らかにできたと考えています。

【目次】

- 第1章 日本の蚕糸業の縮小過程とその要因 <高木 賢>
- 第2章 戦後のライフスタイル変化と蚕糸業の縮小過程 <西野寿章>
- 第3章 日本蚕糸業の歴史・文化伝承の取り組み - 関連博物館・資料館や学校での実践 - <大島登志彦>
- 第4章 世界遺産とその周辺の観光振興と景観保全の国際比較 <佐滝剛弘>
- 第5章 近代日本の蚕糸業 - 戦前史と戦後史 - <石井寛治>

地域科学研究所動静

- ・地域科学研究所特定研究員の本年度研究成果報告会を2月14日に開催しました。特定研究員は、本学の博士後期課程を修了・満期退学した者および本学の任期制助手のうち、本研究所で研究活動を行っている者です。
- ・第1回ぐんま地域経済研究会を2月14日に開催しました。この研究会は、地域科学研究

所と群馬経済研究所との研究交流を通じて、地域づくりに貢献しようとの趣旨で設けられました。

- ・地域科学研究所紀要「産業研究」創立 60 周年記念号 (第 53 巻第 1・2 合併号) を発行しました。今号では、論文 8 編、研究ノート 1 編、地域経済レポート 1 編、書評 1 編を掲載しました。そして、高崎経済大学創立 60 周年に合わせ、創立 50 周年以降の本学の研究機関の歩みのほか、地域科学研究所の前身である産業研究所・地域政策研究センターの歴代所長から、所長時代を振り返ってのご寄稿をいただきました。論文等は、近日中に本学ホームページ (リポジトリ) で公開します。
- ・研究プロジェクト「長野堰の成立と歴史的役割に関する研究」では、3 月 20 日に研究会を開催しました。今回も、立命館大学名誉教授の吉越昭久先生にご出席いただき、長野堰を語りつぐ会メンバーが 2 月に訪問した、かんがい事業に関する兵庫県にある資料館等の調査報告を中心に行いました。

編集後記

地域科学研究所の発足と同時に事務局となり、さまざまな事業の事務を担当してきました。研究所の事業は多岐にわたりますが、市民の皆様を対象とした講座や講演会では、ご参加くださる方々を通じて、皆様の「学びたい」「知りたい」という強い思いを感じ取ることができました。大学で学ぶというと、高校を卒業して入学する、いわゆる「現役大学生」を思い浮かべますが、実社会を経験された方々の知的好奇心・学究心に応えることもまた、地域にある大学の大きな使命であることをあらためて認識しました。

一方で、講座や講演会で一緒した皆様から

うかがったお話は、高崎の外で生まれ育ったわたくしには、内側からみた高崎を知るよい機会となり、業務のうえでも参考になりました。ありがとうございました。

これからも、地域科学研究所の事業に積極的にご参加いただき、生涯を通じての学びにお役立っていただければ幸いです。(KA)

高崎経済大学地域科学研究所

ニューズレター No.8

発行 2018 年 3 月 30 日

群馬県高崎市上並榎町 1300(〒370-0801)

TEL(027)344-6267 FAX(027)343-7103

E-mail : chiikikagaku@tcue.ac.jp

©TIRS